

シーシーエス株式会社
2014年7月期第2四半期
決算説明



2014年3月12日

JASDAQ コード6669

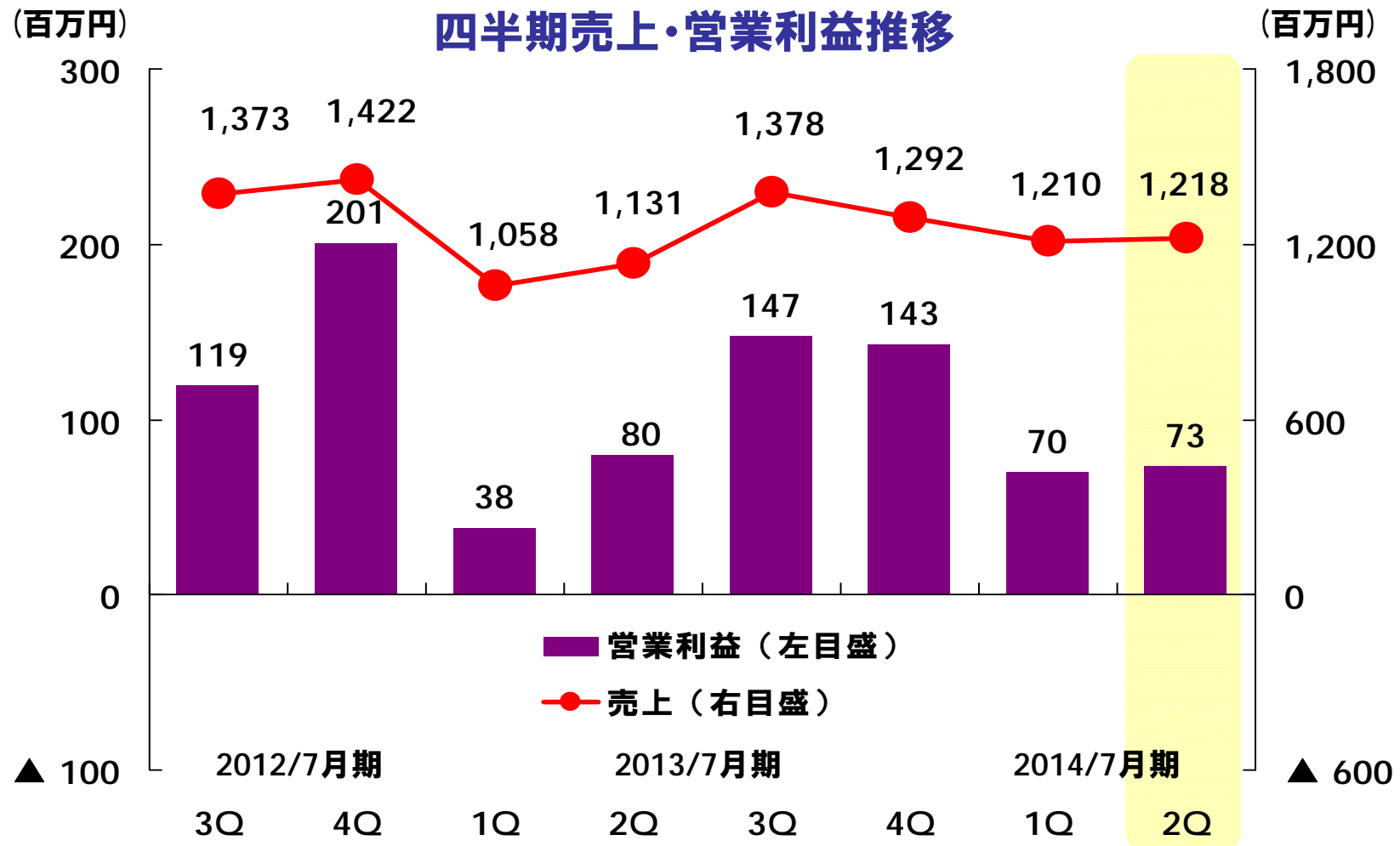
目次

1. 2014年7月期 第2四半期 決算概要
2. 2014年7月期 事業分野別の状況
3. 参考資料～会社概要

1. 2014年7月期 第2四半期 決算概要

決算ハイライト

前年同期比 売上+10.9%、営業利益+21.8%の増収増益



決算キーポイント

2013年7月期2Q			2014年7月期2Q	
売上高	: 2,189百万円	➡	売上高	: 2,429百万円
営業利益	: 118百万円		営業利益	: 143百万円

売上・営業利益とも前年より増収・増益

売上高: +239百万円 営業利益: +25百万円

前年同期比 +10.9% 前年同期比 +21.8%

➤ **国内・既存MV事業の売上回復**

	2013年7月期2Q	➔	2014年7月期2Q	増収分
売上	1,357百万円		1,367百万円	10百万円

➤ **海外・北米の売上好調と為替効果**

	2013年7月期2Q	➔	2014年7月期2Q	増収分	為替効果
北米	2,538千ドル		2,879千ドル	27百万円	54百万円
欧州	3,058千ユーロ	➔	2,876千ユーロ	▲ 19百万円	87百万円






➤ **新規事業部門の売上好調**

	2013年7月期2Q	➔	2014年7月期2Q	増収分
売上	109百万円		180百万円	71百万円

2014年7月期 2Q 連結業績

(単位:百万円)

	2013/7月期 2Q		2014/7月期 2Q		増減	
	累計実績		累計実績		前年同期比	
	金額 [A]	売上比 (%)	金額 [B]	売上比 (%)	[B]-[A]	[B]/[A]-1 (%)
売上高	2,189	100.0	2,429	100.0	+239	+10.9
売上総利益	1,313	60.0	1,487	61.2	+173	+13.2
販管費	1,195	54.6	1,343	55.3	+147	+12.4
営業利益	118	5.4	143	5.9	+25	+21.8
経常利益	87	4.0	118	4.9	+30	+35.0
当期純利益	79	3.6	93	3.8	+14	+17.7

	前年同期比	キーポイント
売上高		MV事業回復と為替効果により、売上増加
売上総利益		利益率は前期比+ 1.2ポイント
販管費		対応案件増加のため人件費UP
営業利益		利益率は前期比+0.5ポイント
当期純利益		利益率は前期比+0.2ポイント

貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

資産	13/7 期末	14/7 2Q	負債・純資産	13/7 期末	14/7 2Q
現金及び預金	2,043	1,894	流動負債	1,913	1,770
受取手形及び売掛金	1,200	1,108	固定負債	1,070	882
たな卸資産	970	937			
その他	137	140			
流動資産合計	4,350	4,081	負債合計	2,983	2,652
有形固定資産	996	1,021	資本金	462	462
無形固定資産	57	51	資本剰余金	1,460	1,460
投資その他の資産	323	323	利益剰余金	845	884
			為替換算調整勘定	▲23	17
固定資産合計	1,377	1,396	純資産合計	2,744	2,825
資産合計	5,728	5,477	負債・純資産合計	5,728	5,477

借入金の返済が進み、現預金および負債が減少しました。

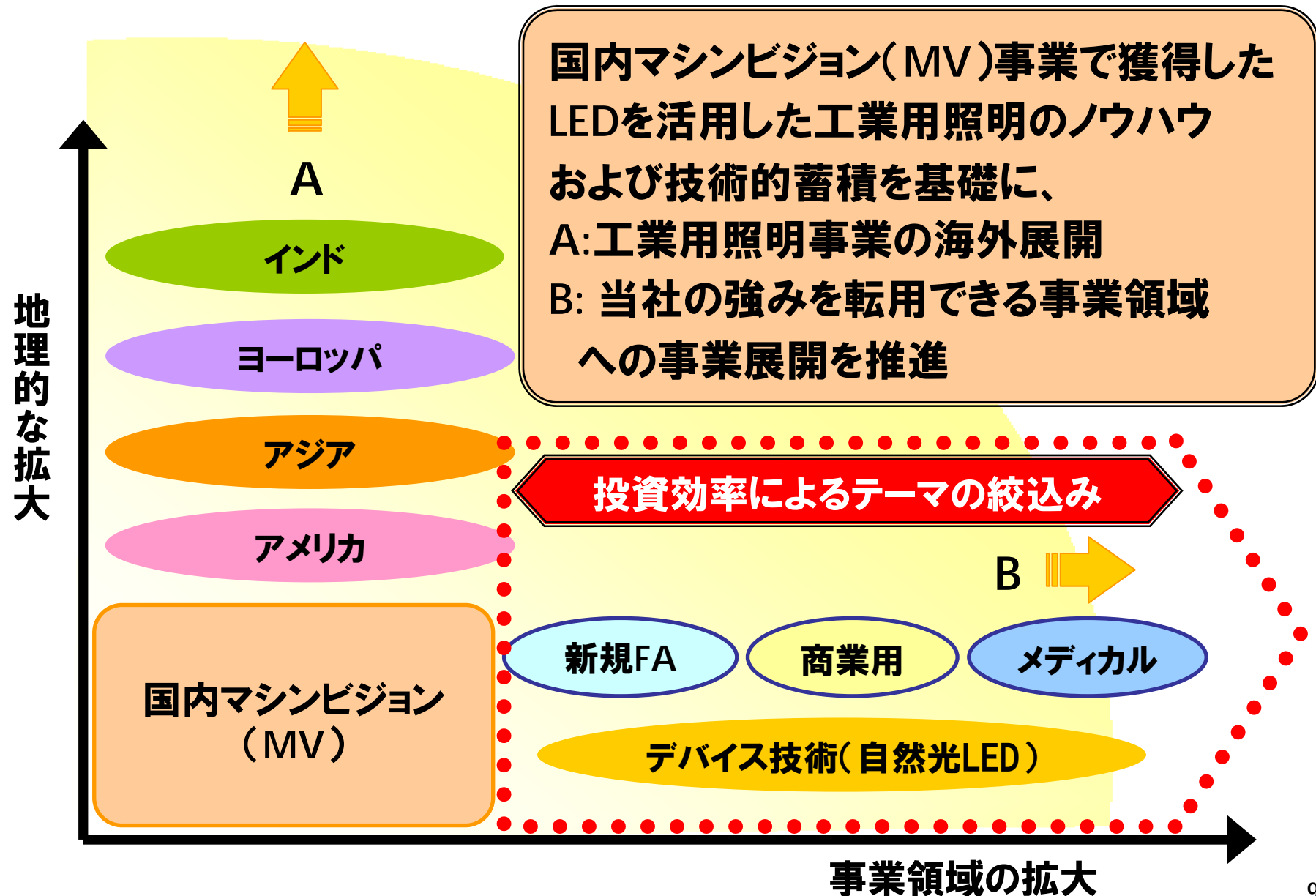
2. 2014年7月期 事業分野別の状況

①事業推進の考え方

②工業用照明事業

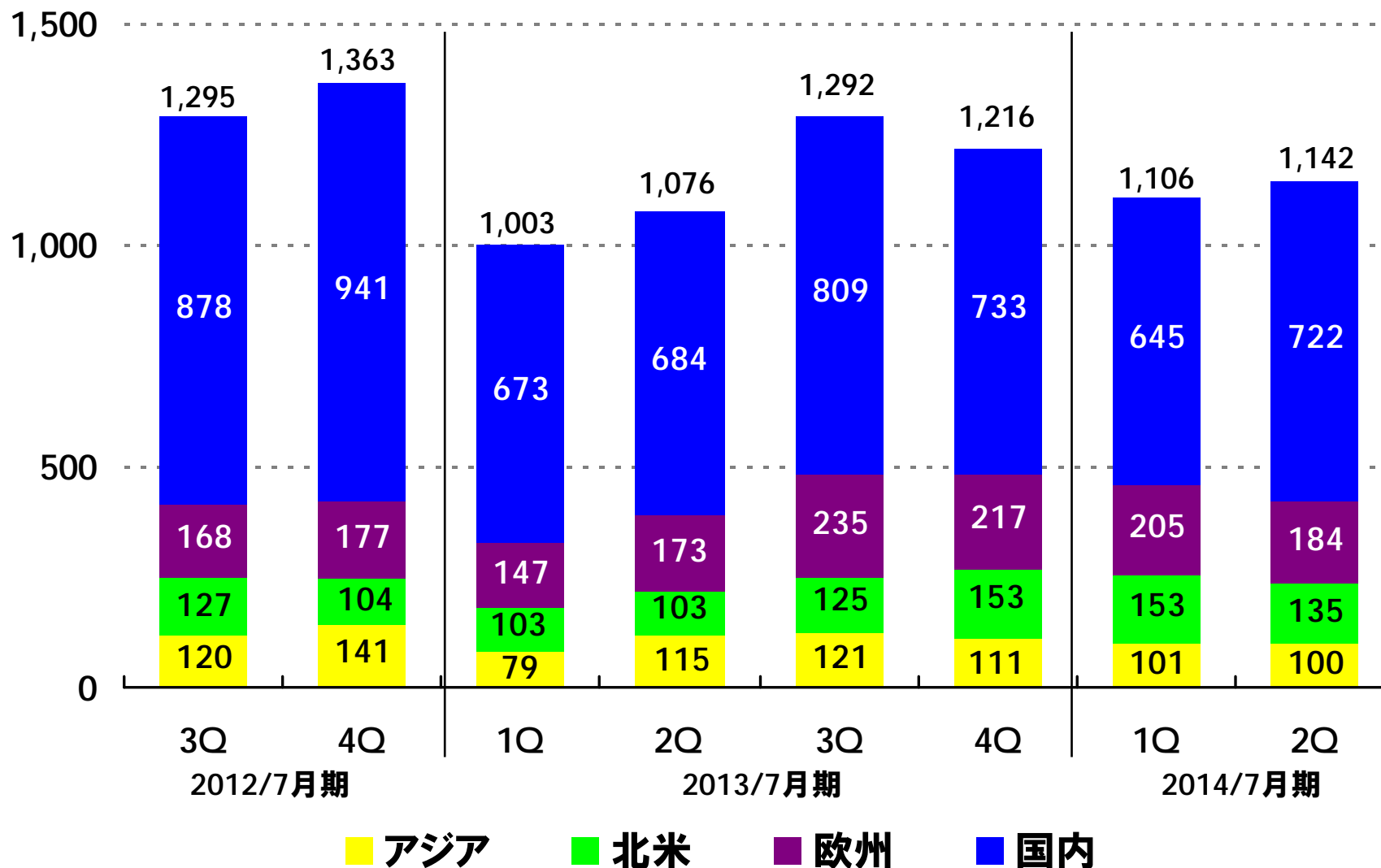
③新規事業

① 事業推進の考え方



②工業用照明事業 地域別売上高(四半期毎)

(単位:百万円) (2012年7月期～2014年7月期)

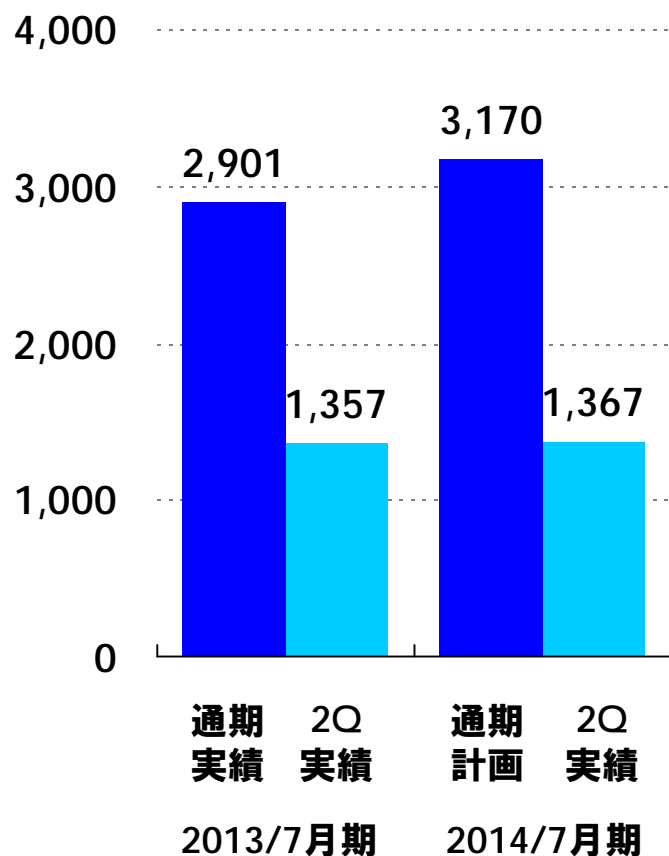


※前期まで工業用照明に分類していた特定顧客向けデバイス事業を、今期より新規事業に移管したため
2012年7月期、2013年7月期の実績数値を調整しています

②工業用照明事業 国内

計画と実績 前期比較

(単位:百万円)



※ 前期まで工業用照明に分類していた特定顧客向けデバイス事業を、今期より新規事業に移管したため、2013年7月期の実績数値を調整しています

第2四半期トピックス

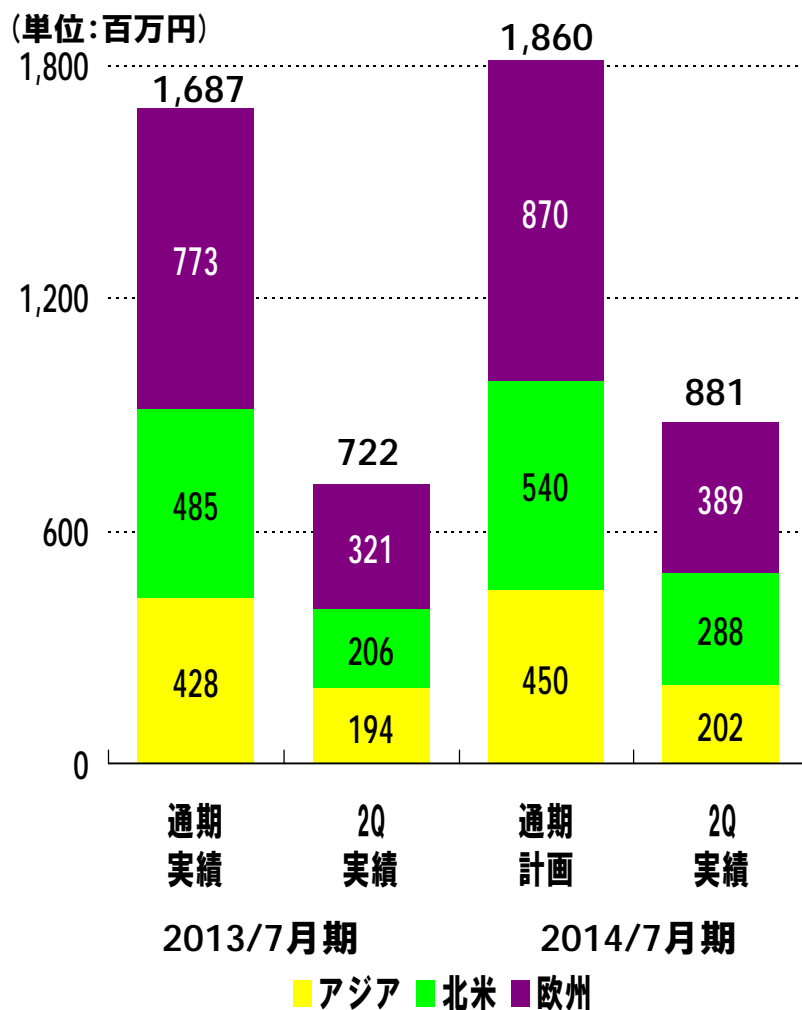
■電子部品・半導体業界への売上が回復
設備投資の動きはまだ鈍いものの、電子部品や半導体業界向け売上が回復傾向。自動車業界も好調に推移。景気の変動を受けにくい包装パッケージ、薬品等三品業界向け売上は堅調に推移している。

■新規事業領域は案件増加
新規事業領域であるラインセンサ用照明、UV照射器事業は、前期から取り組んでいた案件に受注への動きが見られる。

■3Q以降の工業用照明事業
スマートフォン向け売上が増加する見込み。自動車、包装パッケージ、薬品やその他業種も堅調に推移する見込み。ラインセンサ用照明やUV照射器事業の案件を、確実に取り込むことでさらなる売上の増加を見込む。

②工業用照明事業 海外

計画と実績 前期比較



第2四半期トピックス

■欧州：主要顧客の不振の影響大
 主要顧客であるPC業界の不振の影響を受け、電子部品・半導体業界への売上が減少。三品業界向けや画像処理装置メーカーへの売上でカバーするも、現地通貨ベースで売り上げはダウン。

■北米：代理店構築の成果
 主要顧客への関係強化および営業強化が実を結び、売上伸長。画像処理装置メーカーが主要顧客。自動車部品や三品業界が多く集まる西部・南部およびメキシコ国境地域へのアプローチの強化のため、テキサスにテストングルームを開設。

■アジア：CCS製品の評価UP
 中国のメーカーの品質に対する意識が高まり、CCSの製品が見直されるようになり徐々に売上は回復傾向。自動車業界が特に活発である。

<2013/7月期2Qレート>

1USD=81.43円 1EUR=105.02円 1SGD=66.22円

<2014/7月期1Qレート>

1USD=100.29円 1EUR=135.55円 1SGD=79.62円

②工業用照明事業 海外拠点

海外に営業拠点を開設

台湾 駐在員事務所



2013年10月29日 開設

台湾・新竹地区に開設。
半導体・検査装置等のメーカーや研究機関が多く集まる地区。
台湾にて研究・開発し、中国で生産する半導体装置メーカーや電子部品メーカーが多いため、開発段階からスペックインすることがねらい。



台湾高速鉄道新竹駅より5分

エル・パソ テキサス テスティングルーム



2014年1月23日 開設

テキサスおよびメキシコとの国境地域は、近年、工場地域として発展している地区。
西部・南部・メキシコへの事業展開を強化。
エリア実験室を備え、顧客対応のスピードアップをねらう。



②工業用照明事業 新製品

顧客のニーズに合わせた製品の投入

①リング型照明、ドーム型照明 HPR2・HPD2シリーズ (2014年1月発売)



HPR2・HPD2シリーズ

「HPR・HPD」リニューアル 明るさ3倍に

シーシーエス主力製品の全機種をリニューアル
明るさアップ、サイズと色のラインナップも拡充し
より使いやすい製品となって新登場

②高出力LED光源ユニット PFBR-150SW (2014年3月発売)

レボックス(株)との初の共同開発

高出力LEDと独自の集光技術
メタルハライド光源相当の明るさを実現
業界最高水準の200万ルクスを達成



PFBR-150SW

②工業用照明事業 施策

断トツトップシェア獲得のため推進している施策

①顧客対応スピードの改善

顧客からの要求に対し、すぐに営業部門トップへ上げる
営業・技術・生産それぞれの部門トップで納期・仕様について協議し
全社を上げて対応に取り組むことを徹底

②シームレスな製品企画に注力

顧客ニーズの進化に追随する現場密着型マーケティングの徹底
製品企画ロードマップの日常的ブラッシュアップ

③製品開発への取組み

顧客が本当に要求している製品・仕様・価格の追求
重要案件は「社長プロジェクト」とし、明確な納期のもと、徹底して取り組む

②工業用照明事業

中国マシンビジョン市場



CST社との合併会社設立による中国市場の押さえ込み

品質重視 : 品質要求の高まりによる検査機器の需要の増加

人件費削減 : 人件費の上昇に対応するため、マシンビジョンによる生産効率の向上

➡ 2014年1月 合併会社「東莞銳視光電科技有限公司」設立、4月稼働開始予定

➤CCSの戦略



2012年 中国マシンビジョン照明市場

	売上 (百万元)	構成比 (%)
OPT	47	43.5
CST	31	29.0
CCS	16	14.5
OSE	6	5.8
その他	8	7.2
合計	108	100.0

43.5%

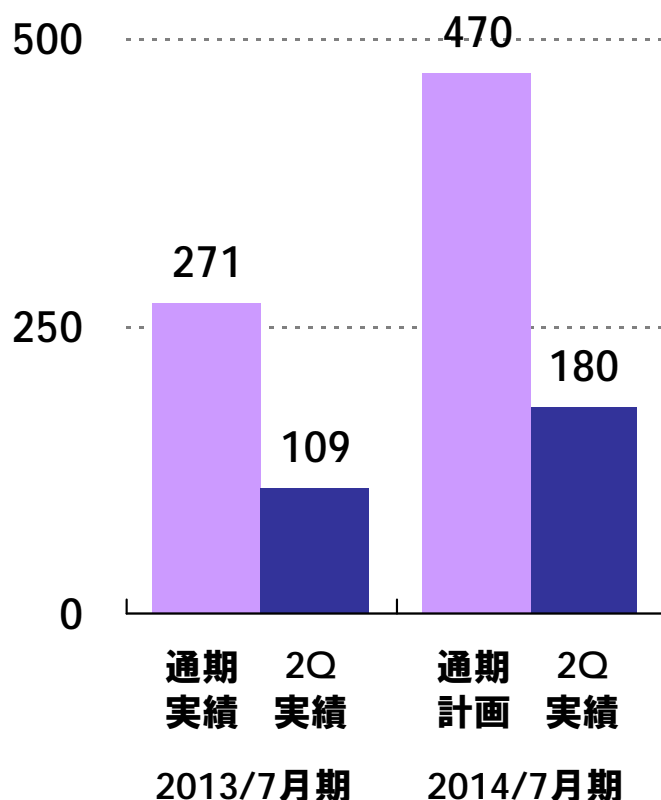
連合軍で
シェア
奪還へ

*当社推計

③新規事業

計画と実績 前期比較

(単位:百万円)



※ 前期まで工業用照明に分類していた特定顧客向けデバイス事業を、今期より新規事業に移管したため、2013年7月期の実績数値を調整しています

第2四半期トピックス

■デバイス事業

自然光LEDおよびUVLEDデバイスの案件多数
特に、医療分野での引き合いが増加。

■美術館・博物館分野

CCS照明の導入事例は、50を超え、
全国多数の美術館・博物館に広がりつつある。
今後、製品の充実化によりトータルでの
照明の提案を進める。

■メディカル分野

全国に代理店網を構築中。
薬品メーカー、医療用顕微鏡メーカーとも
連携して営業を強化している。

■アグリバイオ分野(フィリップスLED照明)

全国の植物工場やグリーンハウスに対し、
営業展開中
大口案件の受注が好調。

③新規事業 デバイス事業

CCSのデバイス商材：「自然光LED」、「UV-LED」

～ デバイス事業の考え方 ～

- ・開発した自然光LED・UV-LEDを必要とする企業へ、光源として供給していく
- ・トップメーカー、継続的に利益の見込める企業に厳選して供給



・デバイス 実物

→
CCSデバイス
使用の製品



・歯科重合機



・LEDフォロースポットライト



・ネイルジェル硬化用



・黄疸治療器



・顕微用光源

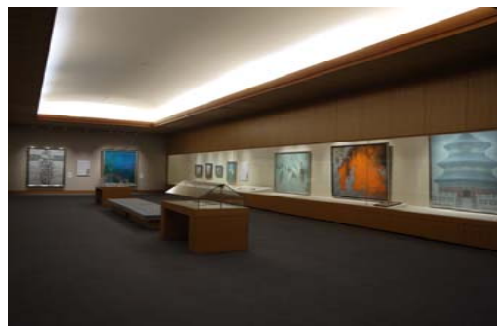
CCSは、独自に開発した自然光LED、UV-LEDをデバイス商材として、事業領域の拡大を目指します

③新規事業 美術館・博物館用照明

CCSの“自然光LED”が続々導入



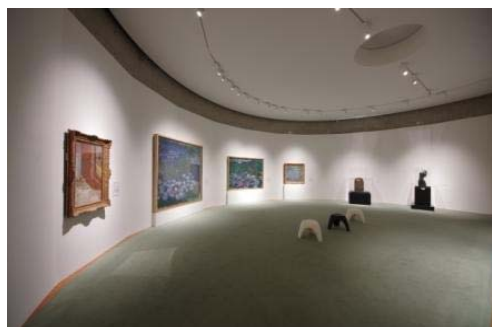
■ 京都府立堂本印象美術館（2013年9月）



■ 富山県水墨美術館（2013年7月）



■ 當麻寺（2014年1月）



■ 大山崎山荘美術館（2012年10月）



■ 株式会社川島織物セルコン 織物文化館（2012年10月）



■ 山口県立美術館（2012年4月）

■ その他の導入館（一部）

島根県立古代出雲歴史博物館	2013年11月	北九州市立美術館	2013年3月
MIHO MUSEUM	2013年8月	都城市立美術館	2012年11月
出光美術館	2013年3月	下関市立美術館	2012年7月

③新規事業 アグリバイオ用照明

フィリップス社製 GreenPower LED 植物工場・グリーンハウス(量産規模) 導入開始

- 世界各国で1000件以上の導入実績
- 防水規格 IP66
意外に多い植物工場の水トラブル
漏電・生産ライン停止対策に重要
- 多彩な発光色ラインナップ
従来の赤・青色に加え、
 - ① 野菜の緑色が確認できる「作業性」重視の赤白色
 - ② 「成長促進」効果の遠赤色



■ グリーンハウス トマト・パプリカ用 GPLLED



・LEDを使用した植物栽培工場(イメージ)

富山市牛岳温泉植物栽培工場(仮称)へ GreenPower LED 2,400本 導入

2014年4月より稼働予定
完全人工光型の植物栽培工場を整備し、
エゴマの生産から加工、流通販売までを一体的に行う

1. 経営基盤の強化

- 1) 積極的なアライアンスによる売上/利益規模の追求
- 2) 収益力強化・収益率向上
- 3) 組織の戦力化

2. MV事業の強化と新規事業の堅実拡大

- 1) 総合力強化によるCCSブランド絶対的優位性の確立
- 2) 中国など海外市場への攻勢を強めて断トツシェア奪取
- 3) 出口を見据えた新規事業展開

3. 開発力の強化と革新

- 1) マーケティング力とシームレスに製品を生み出す企画力UP
- 2) 顧客要求のQCDへ満額回答出来る技術・生産力の強化
- 3) ライバルを凌駕する先を見据えたコア技術の先行開発

21期 全社スローガン

弛まぬ**変革**と飽くなき**挑戦**

3. 参考資料 ～会社概要～

Creative Customer Satisfaction

社是 : 『お客様に愛と感謝』

基本理念: 『光を科学し、社会に貢献する』

行動指針: 『すべてはお客様のために』

会社概要

- 商号 シーシーエス株式会社
- 本社所在地 京都府京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374
- 代表者 代表執行役社長 各務 嘉郎
- 設立 1993年10月
- 資本金 462百万円
- 従業員数 205名(連結)、186名(単体)
- 発行済株式総数 普通株式 4,138,000株
(注)発行済株式の総数については、
2014年2月1日の株式分割を反映しています
- 株主数 A種優先株式 5,103株
普通株式 2,760名
A種優先株式 4名
- 連結子会社 CCS America, Inc. / CCS Asia PTE.LTD./ CCS Europe N.V./CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVT.LTD.
- 拠点数 国内 7ヵ所 / 海外(連結子会社含む) 9ヶ所



本社(京都市上京区)

(2014年1月末現在)

沿革

- 1993 シーシーエス株式会社を資本金1,000万円で設立
- 1999 CCS America, Inc.(100%子会社)を設立(米国マサチューセッツ州)
- 2000 東京営業所を開設
- 2001 本社移転(現所在地)
- 2003 上海駐在員事務所を開設(中国 上海市)
- 2004 ジャスダックに上場
RDV(S)PTE LTD社を子会社化(シンガポール)
CCS Europe NV(100%子会社)を設立(ベルギー)
- 2005 ISO9001認証取得
- 2006 ISO14001認証取得
- 2007 生産拠点と物流拠点を統合し、生産センターを開設(京都市下京区)
仙台テストングループを開設(宮城県仙台市青葉区)
山口大学との共同開発で「自然光LED」照明を開発
- 2008 新研究所「光技術研究所」を開設(京都市上京区)
深セン駐在員事務所を開設(中国広東省深セン市)
名古屋営業所を開設(名古屋市中村区)
- 2009 連結子会社であるRDV(S)PTE .LTD.の商号をCCS Asia PTE.LTD.へ変更
医療機器製造業および第三種医療機器製造販売業に関する許可を取得
- 2010 CCS Asia PTE.LTD.バンコク駐在員事務所を開設(タイ・バンコク)
- 2011 CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVD.LTD.を設立(インド)
- 2012 医療用LED照明の開発・販売、医療分野へ参入
- 2013 中国CST社との合併会社設立を目的とし、合併契約を締結
台湾駐在員事務所を開設(台湾 新竹県)
- 2014 CCS America, Inc.エル・バソ テキサス テスティングルームを開設(米国テキサス州)

参考資料:LED開発の歩み

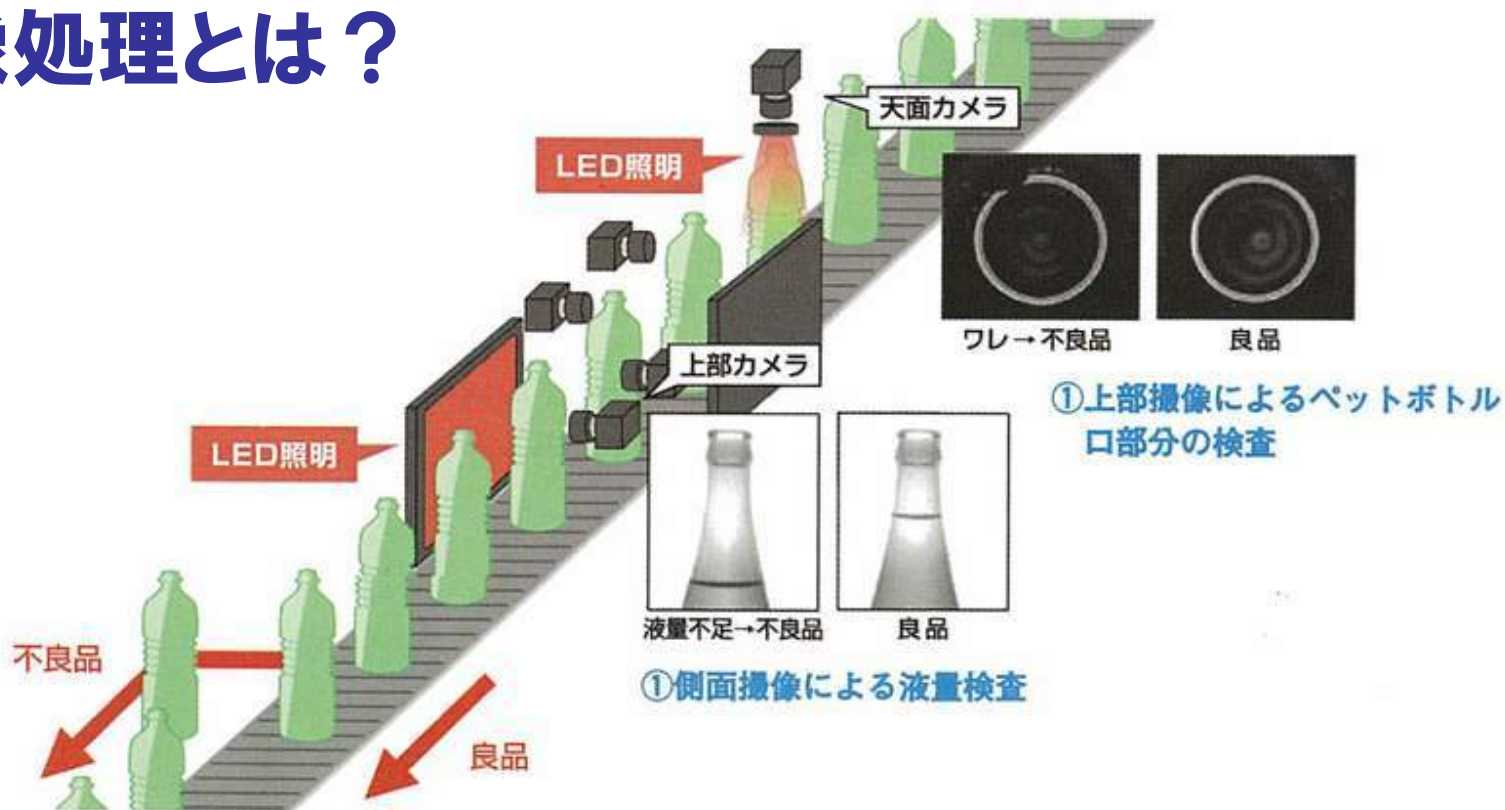
- 1962年 赤色と黄緑色が開発
- 1970年代 赤色と黄緑色が実用化
- 1993年 青色が製品化
- 1995年 純緑色の開発
光の三原色がそろそろ
- 1996年 白色が開発

- 現在 発光効率の向上
高演色性白色の開発

シーシーエスの主力事業

CCSは、画像処理用LED照明市場で国内・海外ともに
トップシェアを占める リーディングカンパニーです。

画像処理とは？

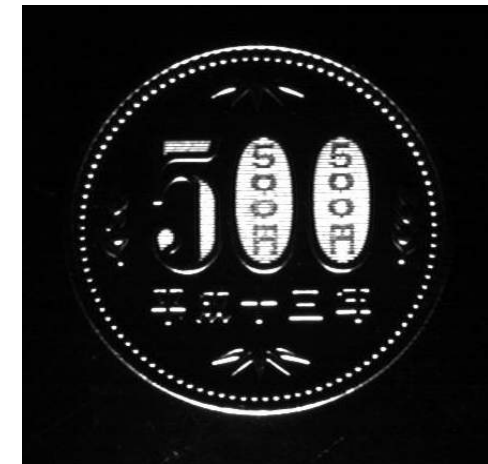
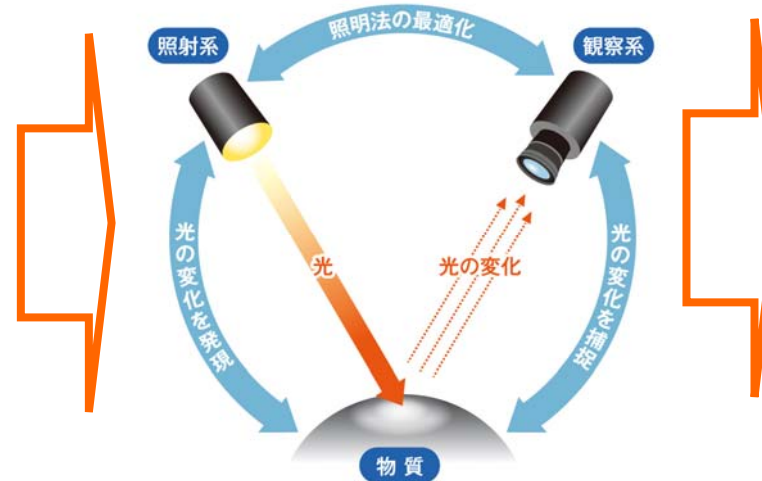


ライティングソリューションの重要性

<照明法の最適化>



流通している硬貨。
実際に検査しているものではありません。



伝搬方向を最適化
見えなかった、
500円の文字を抽出。

同じ対象物でも見え方が全く異なります。
この光の選び方が技術・ノウハウである、
「ライティングソリューション」です。

信頼の実績とサポート体制

- 50,000件以上のワーク撮像実績
- 約10,000機種のカスタム照明の設計・開発・製作
- 数百種類、数千台に及ぶ無料貸出機を準備
- エリア実験室、ラインセンサ用実験室を完備



エリア実験室



ラインセンサ用実験室

シーシーエスの事業領域

新規事業分野



商業分野

美術館・博物館用照明



工業用照明分野

マシンビジョン用照明分野

(エリア照明・ラインセンサ用照明)

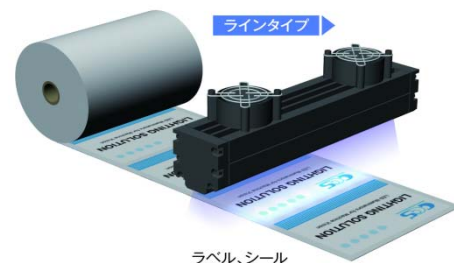


新規FA分野照明

(UV照射器

顕微鏡用照明)

■ UVインクの硬化



ラベル、シール



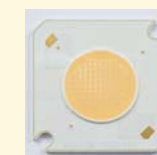
メディカル分野



アグリバイオ分野

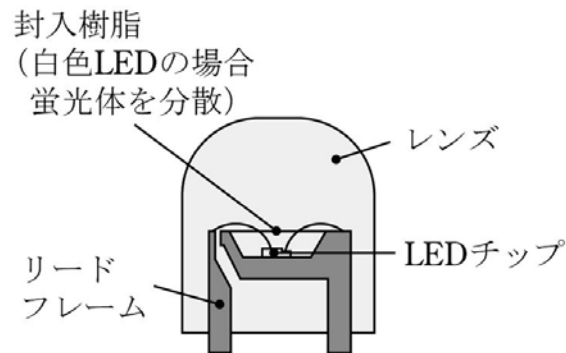


デバイス分野

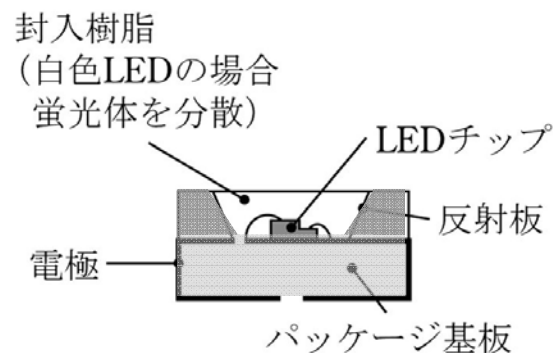


LEDの種類と構造

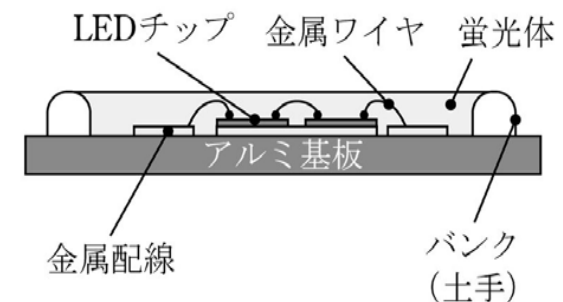
LEDは、LEDチップ、蛍光体、パッケージや封止樹脂などさまざまな部材を組み合わせ、複雑な光学現象、化学現象、構造力学現象をハンドリングしてつくりだされています。



砲弾型



表面実装(SMD)



チップオンボード(COB)

* 参照: 社会法人日本電気技術者協会 電気技術開設講座

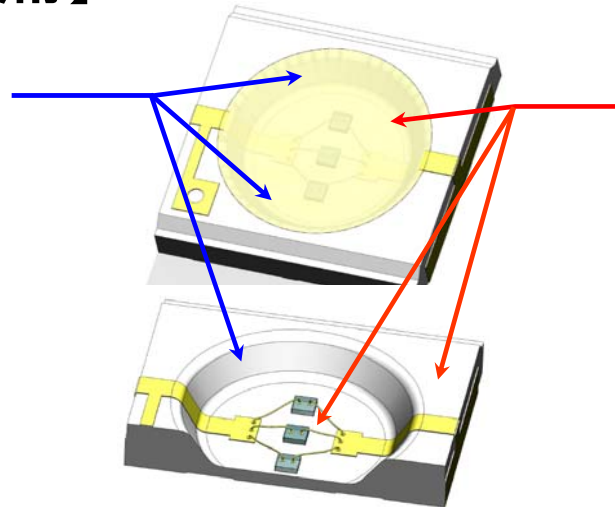
シーシーエスは、独自の技術で設計開発を行いオリジナルLEDの開発に取り組んでいます。

LEDデバイス技術

【SMDパッケージング技術】

高効率化

【蛍光体】
材料及び封止方法の最適化
【封止樹脂】
材料特性、表面形状の最適化
【リフレクタ形状最適化】
壁面高さ、角度、高反射率



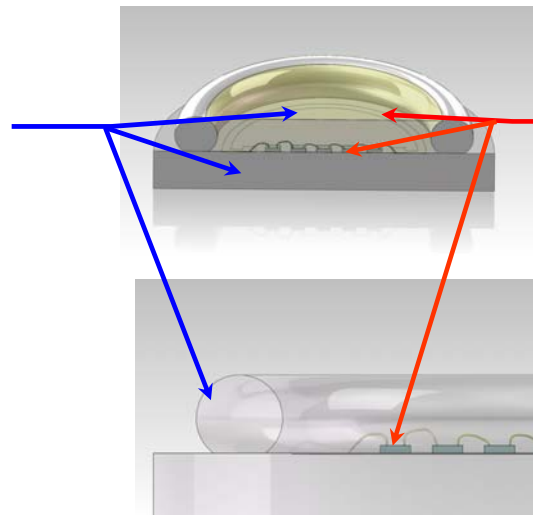
長寿命化

【封止樹脂】
耐熱・耐光性向上
【ボンディング材料】
耐熱・耐光性向上、高放熱性
【パッケージ材料】
高反射率、高放熱性

【COB実装技術】

高効率化

【蛍光体】
材料及び封止方法の最適化
【ダム材】
高反射率、成型化
【基板材料】
高反射率、高放熱



長寿命化

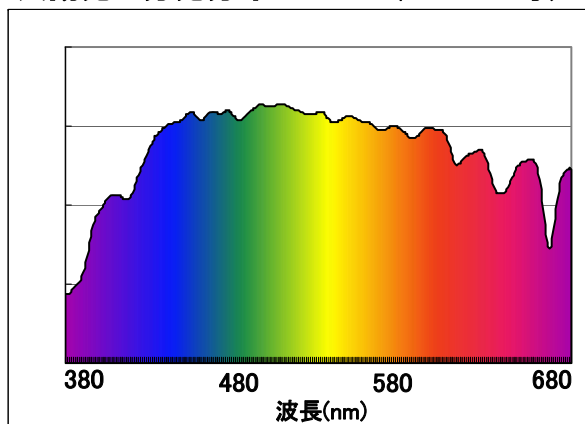
【封止樹脂】
耐熱・耐光性向上
【実装パターン】
狭ピッチ、高反射率
【ボンディング材料】
耐熱、耐光性向上、高放熱性

「自然光LED」とは

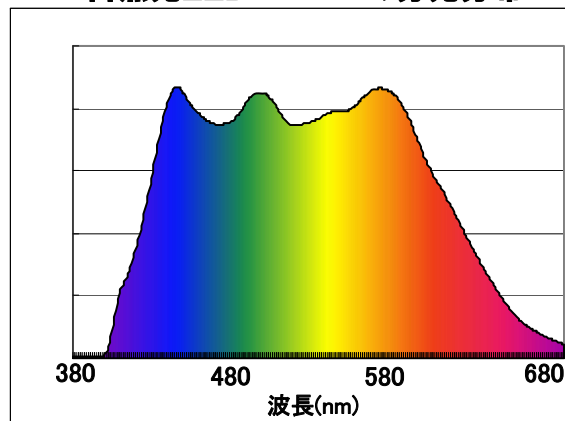


独自に開発した太陽光に近い光を再現する「自然光LED」
色の再現性を標準化・数値化した平均演色評価数*において、
業界最高クラス“Ra98”(相関色温度:5000 K)を達成

太陽光の分光分布 5200 K(AM:10時)

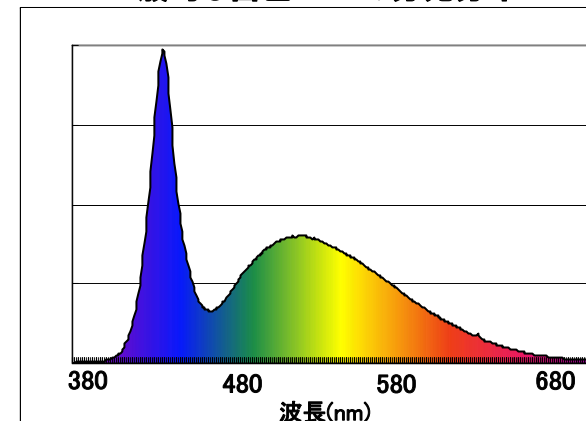


“自然光LED5000 K”の分光分布



太陽光に近い分光分布で物体の色を忠実に再現

一般的な白色LEDの分光分布



青色LEDの青が極端に強い

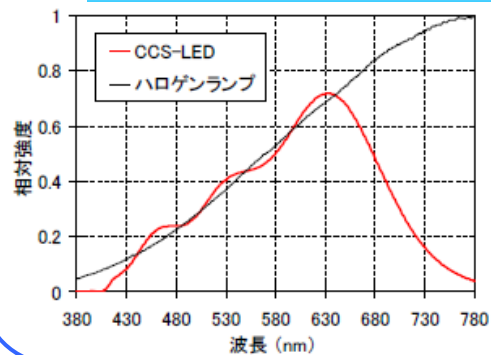


肌の色も自然に美しく魅せることができます

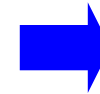
文化財保存修復学会 第35回大会 2013年7月

▶▶ P043 高演色性と低損傷性を兼ね備えたLED照明の開発と評価

ハロゲンランプと同等の分光分布を持つLED



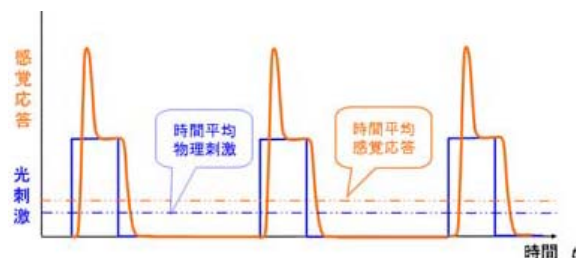
ハロゲンランプと比べて突出したピーク成分を持たず、損傷性の高い紫外線や、赤外線を含まない。



ハロゲンランプと同等の分光特性を持つLEDを開発し、高演色性と低損傷性を実験・理論的解析によって証明された。

▶▶ P044 文化財用低損傷パルス駆動LED照明

パルス駆動LED照明



Broca-Sulzer効果によって、実際の直流駆動よりも、明るく感じさせることができる。

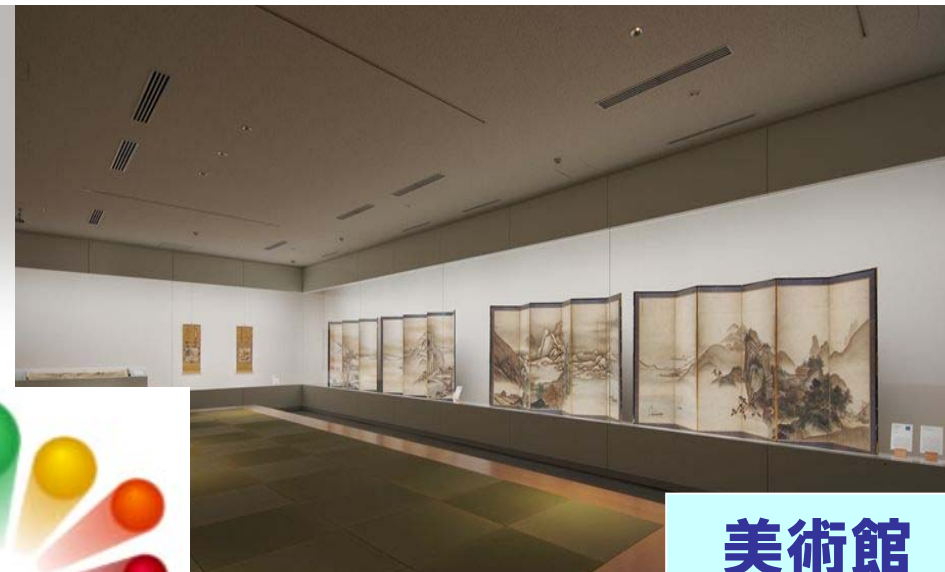


LED照明をパルス駆動することにより、肉眼での明るさ感を確保したまま、展示物への損傷を低減できることが検証された。

「自然光LED」搭載照明の商品化に注力



顕微鏡



美術館

生鮮食品などのショーケース用照明

光源から熱を出さず
生鮮食品を傷めず、店内の空調コストも抑制できます。

こんなに見え方が違います！
特に赤い野菜や果物は自然光LEDの光で色が鮮やかに見えます。もちろん、手も自然光LEDのもとでは肌の色がきれいに見えます。

自然光LED	従来の白色LED	電球灯

食品



ホテル・会場

設備投資・減価償却・研究開発費の推移



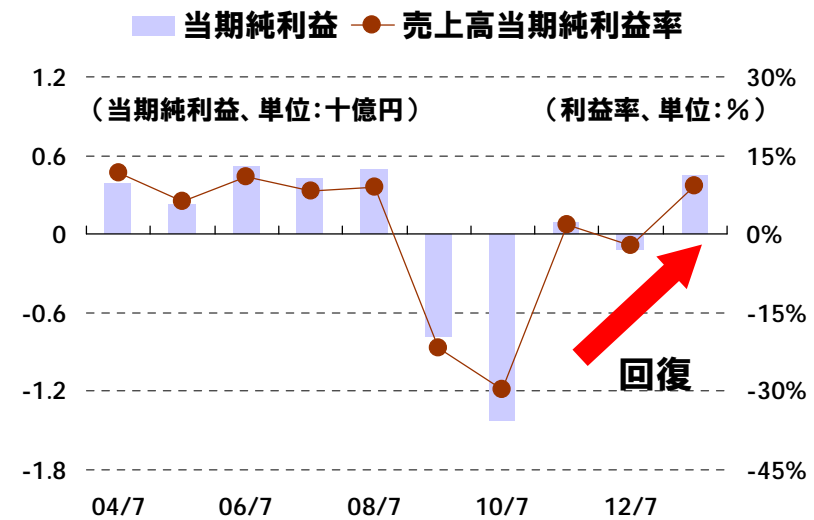
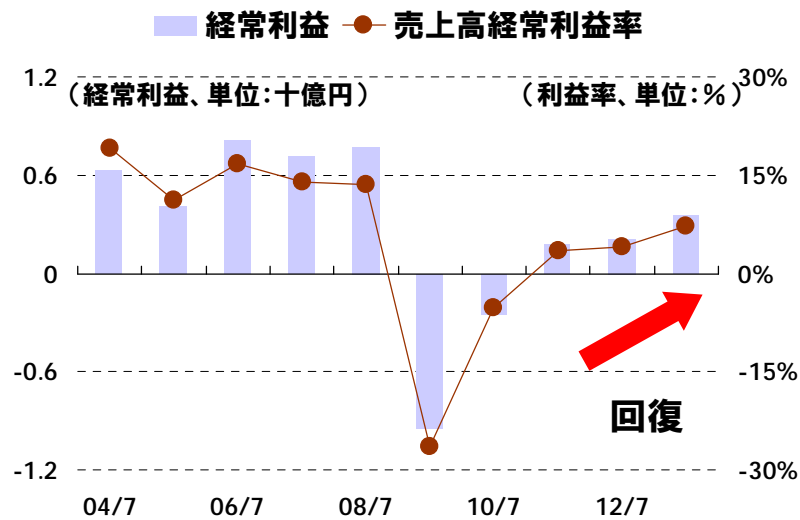
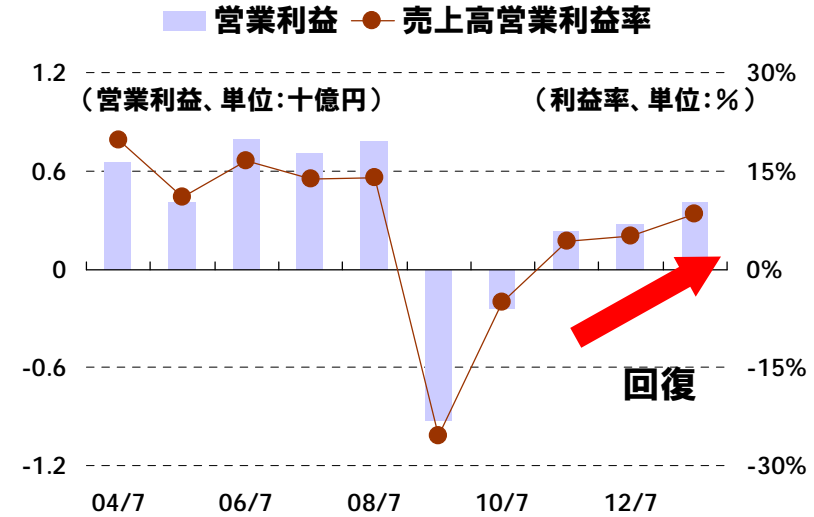
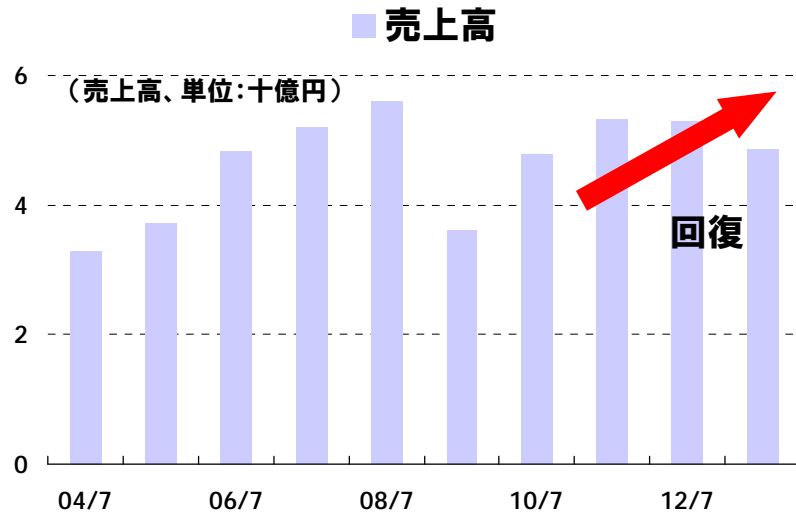
(単位:百万円)

	11/7 通期	12/7 通期	13/7 通期	14/7 通期	14/7 通期計画
設備投資	80	94	128	82	379
有形固定資産	61	77	103	77	245
無形固定資産	19	17	24	4	134
減価償却	166	145	124	63	170

(単位:百万円)

	11/7 通期	12/7 通期	13/7 通期	14/7 通期	14/7 通期計画
研究開発費	684	570	449	215	554
対売上比率	12.9%	10.8%	9.3%	8.9%	10.1%

業績・財務指標の推移(1)



業績・財務指標の推移(2)

